

滋賀県議会 対話の会・しがねっと

〒520-8577 大津市京町4丁目1-1 県庁2階 [TEL] 077-528-4057 [FAX] 077-527-1839

[E-mail] info@shiga-net.jp [URL] shiga-net.jp

9月 定例県議会 「一人ひとりが生かされる 社会づくり」を 目指す

今年、大災害が相次ぎ、震災に続き、台風による甚大な被害が紀伊半島を中心に起こっています。いかに知恵を出し、皆で助け合いながら身を守る事が出来るか、県が出来ること、地域や一人ひとりが出来ることを真剣に考えていかねばなりません。子どもから高齢者まで、障がいのある人もない人も、すべての人が安心・安全に暮らせる滋賀県にするため、井阪議員が代表質問に立ちました。



代表質問に立つ井阪尚司議員

大規模災害と高齢者問題について

Q 大災害では、高齢者が不自由な避難所生活を余儀なくされている。高齢者の行政区域を超えた避難救助支援の体制について伺う。

A 知事 市町や関係団体と連携しながら、社会福祉施設の持つ人的・物的資源を活用し、市町での対応が困難な人々への避難や支援のあり方について、検討を進めていきたいと考えています。

Q 放射能汚染や健康等について、高齢者の解りやすい情報提供や学習の機会があると思うがどうか。

A 知事 高齢者が新しい知識・教養と技術を身につけるには、地域の担い手として活躍できるように支援しているレイカディア大学で、今後、放射能汚染や健康への影響などについて、わかりやすい情報提供や学習機会の確保に努めていきます。また、県老人クラブ連合会とともに、老人クラブにおける研修や広報啓発などに取り組んでいきます。

再生可能エネルギーの普及について

Q 「卒原発」の意味について伺う。

A 知事 福島原発の事故を目的の当たりにしたとき、原子力発電がいかに高い環境汚染リスクを伴うものであるかを実感しました。これに代わるエネルギーの開発は、まだ自然エネルギーとしてもよちよち歩きですが、技術的な発展と制度的な仕組みを整えられ、独り立ちしてきた段階で、原子力発電所からは卒業すべきだと考えています。

Q 再生可能エネルギーの普及を進めることは、経済面、雇用促進など滋賀県経済にプラスの影響を与えられるものと考えているがどうか。

県立高等学校再編計画について

Q 高校再編によって学校間の格差の現状をどう解決するのか。

A 教育長 生徒が希望の進路を実現できるように、各高校の教育内容を見直し、魅力と特色ある学校にします。子どもたちが、将来どのような職業に就いて社会に貢献し、幸せな家庭を築いて暮らせるかを思い描いて自らの進路を切り拓けるよう、多様な学びが提供できる教育環境づくりに努めます。

Q 「自信と誇りを育むキャリア教育の推進」について伺う。

A 教育長 職業学科は、職の担い手育成事業などを通じて、地域産業と連携して、勤労観・職業観の涵養、実践的な職業知識・技能の向上を図るよう、就業体験を実施するなど、キャリア教育の推進に努めております。普通科があるすべての県立高校に対しては、外部講師を招いての講演会に、また、指定2校に対して就業体験に支援しています。入学当初から卒業後も見据え、望ましい勤労観・職業観を身につけさせ、自信と誇りを育むことができるよう、キャリア教育の一層の充実に向けていきます。



10/20
~27

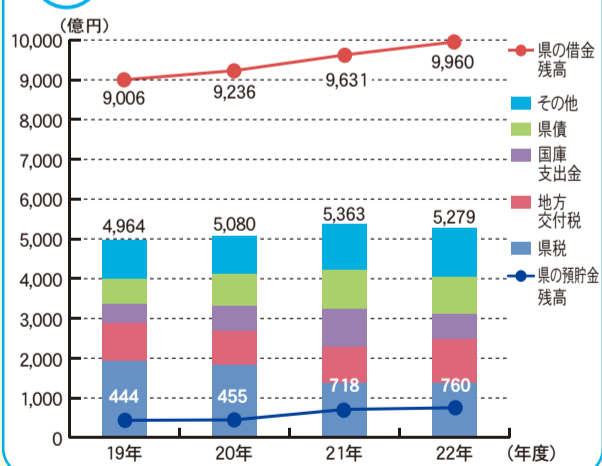
平成22年度 決算特別委員会

清水議員と井阪議員が、皆さんの納めた税金などがこの一年間でどのように使われたのかをチェックしました。

一般会計 ● 歳入 5,278億 6,282万円
決算額 ● 歳出 5,225億 9,106万円

13特別会計 ● 歳入 1,773億 636万円
決算額 ● 歳出 1,732億 7,428万円

一般会計 歳入・県債残高(借金)・基金残高(預貯金)



一年間に県民一人当たりに使われるお金

H22年度 387,359円
H21年度 379,662円

滋賀県の推計人口：1,403,977人(平成22年10月1日)
1,402,132人(平成21年10月1日)

政策調整費※1	総務費	県民文化生活費
H22年度 9,545円 H21年度 10,663円	H22年度 28,588円 H21年度 21,149円	H22年度 4,325円 H21年度 4,168円
琵琶湖環境費	健康福祉費	商工観光労働費
H22年度 15,749円 H21年度 14,945円	H22年度 62,241円 H21年度 65,642円	H22年度 20,440円 H21年度 18,024円
農政水産業費	土木交通費	警察費
H22年度 14,173円 H21年度 13,035円	H22年度 46,113円 H21年度 40,686円	H22年度 20,373円 H21年度 20,351円
教育費	公債費※2	その他※3
H22年度 90,938円 H21年度 90,041円	H22年度 53,668円 H21年度 53,664円	H22年度 21,206円 H21年度 27,294円

※1 よりよい行政を進めるために使われる費用
※2 県が借入れたお金を返すための費用
※3 議会費、災害復興費等

討論

修正案

原発に代わる新エネルギー導入に向けた研究費360万円の削減案に対し、子どもの将来が放射能で障害されないよう一刻も早く推進する必要があると、井阪議員が反対討論。

決議案

高校再編計画(原案)では、受験生が不安を抱かないように、北川ダムと安曇川治水問題では、住民にきめ細かな説明をするように、井阪議員が賛成討論。

どんどん更新!



寄せられたご意見は、県政にどんどん反映します。是非、ご覧ください。

